

Faculty of Fisheries

長崎大学水産学部

〒852-8521
長崎県長崎市文教町1-14
長崎大学水産学部
TEL.095-819-2796(水産学部学務担当)
FAX.095-819-2857

編集／長崎大学水産学部
発行／2026年7月



世界の水産を変える
ながさき BLUE エコノミー



表紙のはなし

グラバー図譜

ホシセミホウボウ 画家 中村三郎

明治末から昭和初期にかけての約25年間に、倉場富三郎(Thomas A. Glover: 1870~1945)が長崎魚市で収集した魚類や甲殻類などをもとに作成・編纂した図鑑です。富三郎は、長崎在住の5人の日本画家(小田紫星、長谷川雪香、中村三郎、萩原魚仙、井上寿一)を雇い、形態や色彩から鱗数や棘軟条数に至るまで正確に描写させ、全32集(806図)を完成させました。各図譜に長崎の地名とともに鉛筆で記された種の学名は、富三郎が研究した上で決定したもので、学術・美術的な価値にとどまらず、歴史・文化的な価値も高い資料です。

(長崎大学附属図書館所蔵)



水産学部は
プラネタリーヘルスを
推進しています



Faculty of Fisheries

Nagasaki University

長崎大学水産学部



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

Welcome to
Marine Science

海の科学へようこそ

海は人間の心の豊かさの源泉です。そして、海は陸上の気候や環境、生物にも大きな影響を与えています。多様な生物に富む海から、人々は太古の時代より、多くの食料を得てきました。ここに水産学の原点があります。

そして現代。科学技術が急速に発展し、地球人口は爆発的に増加しています。人間の社会経済活動によって、大量のエネルギーが消費され、環境にも大きなインパクトを与えるようになりました。海でも温暖化や酸性化などの問題が進行しています。これまで、海の生物を食料として人々に届けることが水産業の大きな目的でしたが、今では、海の資源に限りのある中で、海の豊かさを守り、海の恵みを未来に引き継いでいくことを真剣に考えなければならない時代になっています。

幸いなことに、自然科学と科学技術はめざましい進歩を遂げています。水産学も、生き物から食料をつくるだけの学問から、あらゆる科学分野の統合のもとに、地球と海と人間をつなぐ学問として発展しています。



Yoshitaka Sakakura

Explore the Ocean World

平和文化都市・長崎に置かれている長崎大学は、教職員と学生数が12000人を超える総合大学です。これまでに6500余名の学生が水産学部を卒業し、水産・海洋関連を含む広範な分野で社会に貢献しています。

水産学部では、長崎の海と地域を学びの場として、未来の持続可能社会のリーダーとなる人材を育成するために、海洋生物学をコアとする新たなコース教育を令和5年度から開始しました。まず、総合体験型の基礎教育でイノベーションの土台を養い、専門教育では、フィールド科学と生命科学を連携させながら海洋環境保全、食料生産、食品加工へと展開していきます。最新鋭の大型練習船での乗船実習や、水産県長崎をモデルとした地域創生の取り組みなど、特色ある教育カリキュラムを通して、理論と実践力を身につけます。

豊かな自然に囲まれたキャンパスで、長崎でしか体験できない充実した学生生活を送ってください。

水産学部長 **阪倉 良孝**



水産学部入学から卒業までの道のり

The Road to Graduation



Course Selection!

幅広い知識を基盤として 多様な学びができる履修コース

これからの時代の海と水産業を取り巻く状況は、地球規模から地域に至るまで多面的で複合化した様々な問題を抱えています。海の持続可能な利用と、人と海の健康に貢献するためには、現場の問題を俯瞰的に捉えて新しい価値観やアプローチから解決に取り組むことができる挑戦的な人材が必要です。基礎教育を拡充して海と水産に関する幅広い知識を身につけさせ、学生一人一人の個性と目標に応じた『多様な学び』ができる教育環境を作り出すために、長崎大学水産学部には、海の環境と資源について学ぶ水圏環境資源コース、海洋生物の特性と高度な利用・保存について学ぶ水圏生命科学コース、地域の持続可能性からプラネタリーヘルスまでグローバルな問題解決に分野横断的に取り組む海洋未来創生コースの3コースがあります。

1年次

2年次

3年次

4年次

統合体験型 基礎教育

共通基礎科目の充実

学部横断教育の拡充

現場体験教育の導入

教養教育科目と入門科目・専門基礎科目を2年次前期まで受講します。また、2年次前期には共通実験科目で、水産学部の学生全員に修得して欲しい実技を学んでもらいます。水圏環境資源コース、水圏生命科学コース、海洋未来創生コースの3コースから1つを選択して、2年次後期より各々のコースの特性に則った専門性の高い授業科目と実験科目を受講します。3年次後期に研究室を選択し、4年次には学部教育の集大成である卒業研究に取り組みます。

水圏環境資源コース

海洋環境を守りながら水産資源を持続的に利用するため、様々な学問分野を複合的に学びます。さらに、国際的な視点でこれらの問題に取り組む力を身につけ、水産業や社会に役立つ知識を養います。

水圏生命科学コース

生態系の保全や生物資源を増やしなが利用するための技術などを学びます。さらに、食品加工や衛生に関する知識を基礎から総合的に身につけ、生物資源の有効な利用法を考え、社会に貢献できる力を養います。

海洋未来創生コース

水産業について、海の生態系から海洋資源の生産・流通・消費まで、幅広い分野を現場を通して学びます。さらに、持続可能な新しい水産業のモデルを設計・提案する力を身に付け、地域社会に貢献できる力を養います。

卒業研究

研究室はコースに関係なく選択可能

学部教育の集大成として、配属された研究室で指導教員のもと自分の研究テーマに1年間取り組みます。最先端の研究を実施する調査や実験の技術はもちろん、研究計画の立案からプレゼンテーションまでトータルな能力を身につけます。

どんな先生がいるか
チェックしてみよう?!



Messages from our faculty

海やサカナと共に 生きる知識と実践を学ぼう!



広瀬 美由紀 准教授
Miyuki Hirose

皆 さん、「水産学部」と聞くと漁業、漁師、魚などといった言葉が思い浮かぶ人も多いのではないのでしょうか。では、私たちがいつまでもおいしい魚介類を食べられ

るためには、水の中にいるサカナはどう扱うべきなのでしょう。『海や河川にいる生物が、どこに、どれくらいいるのか』、『どんな船や漁具を使って、どんな方法で、どれくらい魚

介類を漁獲してよいのか』、『魚介類は漁獲されてからどのようにして食卓まで届いているのか』など、幅広い知識が重要となります。例えば、『海や河川にいる生物がどこに、どれくらいいるのか』を知るには、どんな方法があると思いますか。色々な方法の一つに私の専門である超音波を使った調査方法があります。皆さんは、魚群探知機やソナーという言葉に耳にしたことはありませんか。私は、そのような超音波を使った機械を利用し、水中の生物の様子(分布・量・行動など)を観察しています。この情報は、『どれくらい魚介類を漁獲してよいのか』という判断基準になるだけでなく、温暖化、海洋酸性化、洋上風力発電などの人工物の設置など、海の環

研究・教員の紹介



境が変化していく中で、水中の生物にはどのような影響が出ているのかを調べる重要な情報となります。

水産学部では、いつまでもおいしい魚介類を食べられるために必要となる様々な研究を行っています。普段、何気なく見ている魚介類ですが、水産学部で学んだら、鮮魚コーナーにいる時間が長くなるかもしれませんね。



長崎丸でのトロール実習

ホームページ



生き物から学び、 科学のことばで説明する!



竹垣 毅 准教授
Takeshi Takegaki

水 産学部に興味のある皆さんの中には、魚釣りや生き物の飼育が好きな人が多いのではないのでしょうか。そんなあなたは知らず知らずのうちに生物のこと、

環境のことを様々な側面から考えているのです。例えば「狙った魚が釣れない」時は、その魚について知っていることや目の前の海から得られる情報から、その魚が今どこ

にたくさんいて、どんな餌なら食べるのかを予想し、「飼っているカメに元気がない」時は温度や水質、餌の種類、病気の可能性などを考えるでしょう。そして、自分の知識や経験を動員して改善策(仮説)を考案し、実践(検証)しているはずです。趣味や遊びと大学の勉強や研究は別モノと思われるかもしれませんが、水産学部の教育・研究はこのような素朴な問題解決の延長線上にあります。違うのは、まだ誰も解決できていない問題に取り組む点、そしてなぜ解決できたのか、その原因やメカニズムを科学的な根拠に基づいて説明できる点です。あなたが実際に直面した生物の疑問や問題に対して取り組んだ経験は、水産学や生物学を

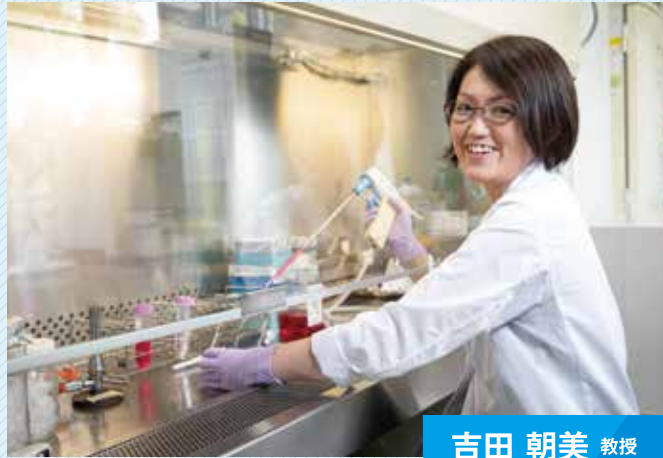
研究する上で必ず生きてくるはずです。その経験を輝かせるのは知識です。知識を得るには勉強が必要です。長崎大学水産学部でさらなる経験を積み、最新の正しい知識を身につけて生物のこと、それを取り巻く環境のことを一緒に研究しましょう!



イカを解剖・観察する学生実験の様子



海の恵みの基礎から応用までを学び、 海洋生体分子の謎を明らかに！



吉田 朝美 教授
Asami Yoshida

寿 司や焼き魚、海藻など、海の恵み(海洋生物)を、皆さんも一度は口にすることがありますよね？ この長崎大学水産学部では、海の生物を形作るタンパク質や

DNAなどの海洋生体分子の基礎から、魚介類からかまぼこや発酵食品などを造る食品加工、それらをヒトが食して得られる栄養、食中毒やアレルギーなどの食品衛生まで、幅広い

い知識と技術など、海の恵みのコトを学ぶことができます。海洋生体分子として、血液をサラサラにする魚の油:DHA・EPAや、昆布・ワカメなど海藻のネバネバ成分:フコイダン・アルギン酸という糖は、様々な生理活性(抗ガン作用、抗酸化作用など)をもつ分子として注目されています。私は、海洋生体分子のうち、水産食品の品質を左右する“酵素”などのタンパク質やその“遺伝子”に着目して、新たな養殖技術や水産加工技術の開発につながるような基礎研究を行っています。例えば、地球温暖化による海水温の上昇が、海面生簀で養殖されるマグロやブリなどの肉質にも影響を与えています。私たちは、熱ストレスによって起こる肉質劣化メカニズムの解明

とそれを防ぐ遺伝子を発見しました。この発見は、品質の良い養殖魚の選抜育種に応用できます。近年、近未来の水産食品として、細胞を培養して魚肉をつくる『細胞性魚肉(培養魚肉)』の研究にも取り組み始めました。あなたもぜひ私たちと一緒に、海の生物がもつ生体分子の基礎から食品・医薬品としての応用までを学び、海洋生体分子の謎と一緒に解き明かしてみませんか？



海藻からアルギン酸を抽出・分離する
学生実験の様子

様々な視点から海を見つめ、海を理解し、 豊かな海を未来へつなげよう！



滝川 哲太郎 准教授
Tetsutaro Takikawa

海の中には目に見えないほど小さい微生物からクジラなど大型生物まで、多様な生物がいます。海底にも貝やエビなどの底生生物(ベントス)がいますし、海藻

やサンゴが繁茂する場所もあります。構造物や他の生物に付着する生き物や、赤潮プランクトンなどの有害生物もいます。これらの多種多様な海洋生物の分布・増減・生

活リズムなどは、周りの環境に強く影響を受けています。具体的には、海流・水温・潮汐といった物理環境、栄養物質濃度やpHなどの化学環境、さらには水中の光条件、大気降下物や河川水などの流入、海底堆積物の底質の違いなどです。また、海洋環境は、マイクロプラスチック汚染や海洋再生可能エネルギー開発などの人間活動によっても変化します。これらの環境要因は、食物連鎖の底辺を支えている動物プランクトン、有機物の分解を担うバクテリアなどの増減や組成と相互に関連しあうことで、海洋生態系が維持されたり変化したりします。さらに、海洋植物プランクトンによる光合成は大気からの二酸化炭素吸収能評価の鍵を握る

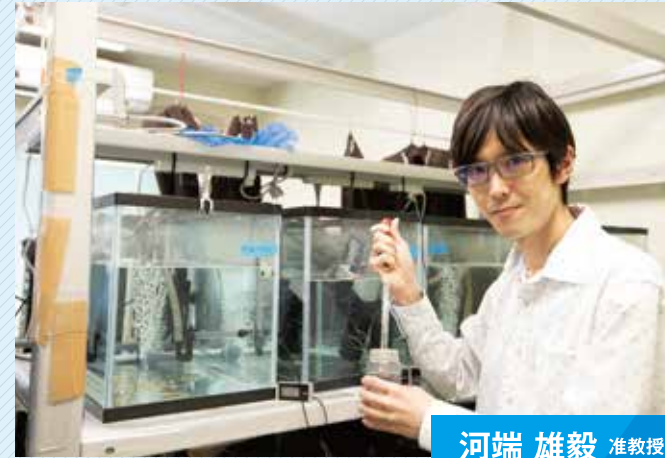
ことも知られ、海面と大気との熱の移動や炭素循環など、地球規模の問題について考える上でも海は極めて重要な場です。水産学部では、幅広い専門分野からなる講義に加え、臨海実習や乗船実習では、実際の海の姿を知るために、物理環境の計測、海水の化学分析、生物試料の採取と分析などを行います。大切な海の環境を理解し、一緒に海の未来を考えましょう。



練習船でのプランクトン採集実習の様子



知られざる水生生物の 謎を解き明かそう！



河端 雄毅 准教授
Yuuki Kawabata

皆さん、勉強と聞くと、しっかりとした正解があって、それをそのまま暗記したり、その解法に至るまでの公式を暗記したりする、そんなイメージじゃないでしょうか。し

かし、大学ではちょっと違います。もちろん暗記が必要な場合もありますが、その分野の最前線の勉強や研究では、そもそも正解がないのです。特に、水生生物に関しては、身

近な生き物であっても、分からないことだらけです。え、じゃあ大学で何を学ぶのと疑問に思うかもしれませんが、これは逆に考えると大チャンスなんです。身近な生き物であっても、よく調べてみると様々な不思議な現象を発見できるし、その生き物や現象の第一人者にだってなれる可能性があるんです。例えば、日本人に馴染みの深い魚で、たくさんの研究者がいる、ウナギ。この魚1つとっても、実はまだまだ謎だらけです。私の研究室では2020年からウナギの稚魚の行動を調べはじめましたが、大発見が続いています。そしてその発見は、皆さんの先輩である水産学部生や大学院生の観察から始まっています。私にはいきなりそんなの無理と

思うかもしれませんが、そこは安心して下さい。長崎大学水産学部では、まずは水生生物の生態や環境、人との関わりなどについて、幅広く基礎的な部分を学びます。そして、その後は未だ正解がない課題について、教員の講義やアドバイスを受けながら、一緒に調べていきます。皆さんと一緒に、ワクワクしながら、知られざる水生生物の謎を解き明かすのを楽しみにしています。



ドンコ(捕食者)に飲み込まれた後に、そのエラの隙間から抜け出そうとするニホンウナギの稚魚(上部:2次元コード)



海のミクロ生物から始まる 海洋生態系の物語を探ろう！



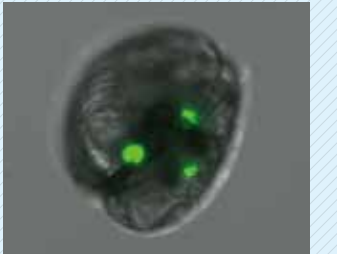
金 禧珍 准教授
Hee-Jin Kim

海は地球表面積の約70%を占めている広大な場所ですが、皆さんは、その生態系を支えているのはミクロの世界に存在する小さなプランクトンであることを

知っていますか?小さな動物プランクトンは、海洋食物連鎖の中で生産者である植物プランクトンと上位栄養段階生物を繋ぎ、海洋生態系の中で生じる物質循環やエネルギー

の流れを維持させる重要な役割を担っています。私は、動物プランクトンの生態を調べ、利用の最適化を図ることと共に、海洋生態系を守ることを研究テーマにしています。動物プランクトンは、海洋食物連鎖で持つその特徴を生かして増養殖の現場では餌料生物として用いられているため、これらの特徴を調べることでより効率的な利用が可能となります。一方、人間の活動が原因の様々な環境問題は、ミクロの世界にも悪影響を与えているため、その影響を正確に分析することは海洋生態系の保全に繋がります。特に、近年注目されているマイクロプラスチックは、動物プランクトンが餌とする植物プランクトンと類似したサイズのものも多いた

め、これらのマイクロプラスチックが動物プランクトンの生残や成長に与える影響を正確に把握する必要があります。そのため、生物学および分子生物学的手法を用いて、動物プランクトンに与える影響とそのメカニズムを解明しています。海が持つ豊かさを守り、持続可能な開発を可能とするこのような研究を、私たちと一緒にしてみませんか？



マイクロプラスチックを与えたマギキ幼生(緑色蛍光がマイクロプラスチック)

Open Lab



新しい発見が満載！ オープンラボ

高校生を対象に、長崎大学水産学部での教育や研究を知ってもらうため、毎年7月にオープンラボを開催しています。実際に、実験室での実験や、大学教員による講義を体験できます。また、実験中にサポートしてくれる大学生や留学生と触れ合えるまたとない機会です。ぜひご参加ください。申込方法等の詳細については、毎年5月下旬から6月上旬に水産学部ホームページに掲載される案内をご覧ください。

長崎大学水産学部では、個別での学部訪問、出前講義も実施しています。希望される方は、学部HPより依頼書をダウンロード、必要事項をご記入の上、メールにてお申込みください。



クジラ・イルカの骨格観察



プランクトンの顕微鏡観察



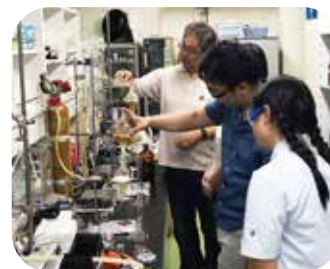
密度の違いで流れが発生(再現実験)



サメ・エイの解剖実験



バイオリギングに関する講義



化学物質の抽出実験



魚のDNAを分析する様子



アジの解剖実験

Circle

水産学部の特色を活かした 学生サークル

水産学部には、独自のサークルが5つあります。学年を越えた共通の趣味や志を持つ者同士が集まり、日々お互いに刺激し合いながら活動しています。



学友会

毎年、海浜清掃や鴻洋祭という学部祭を企画、運営をするなど様々なことに取り組んでいます。学部内での先輩や同学年の友達がたくさんできるので、入学の際はぜひ学友会へ!!!!

海洋研究会

かきどまり白浜海岸で、週に1回スキンドайビングを行っています。
年に2回ほど、海浜清掃やガンガゼ駆除なども行います。



男子端艇部(カッター部)

漕ぎ手含め14人で力を合わせてタイムを競う競技です。
海を身近に感じることができます!



女子端艇部(カッター部)

漕ぎ手、艇長、艇指揮の計8名で1kmのタイムを競う競技です!水産学部生しか入れないレアな部活です!



バリーナ(Balaena)

本物のイルカやクジラをみることができたり、
海棲哺乳類についての研究活動に参加することができるサークルです!

NAGASAKI MARU

附属練習船 長崎丸

昭和27年3月に初代、昭和39年3月に二代目、昭和61年2月に三代目、そして平成30年3月に四代目長崎丸が竣工しました。

おもに東シナ海など外洋域において航海、漁撈、海洋観測実習を行います。長崎丸では騒音の少ない電気推進機関が用いられ、超音波探査による高精度な海底地図の作成に加え海水や堆積物の環境を生物・化学・物理の観点から調べるための試料採取やセンサーによるモニタリングを行うことができます。さらに、光の届かない深海の探査に役立つ音響カメラ搭載型水中ロボットも導入されています。また、船上で食品加工を行うための燻製装置や冷風乾燥装置も搭載されており、長崎丸ブランド製品の製造が見込まれています。



森井康宏

船長

Yasuhiro Morii

長崎大学は練習船を保有する全国でも数少ない大学の1つです。長崎丸は、水産学部3年次学生が約2週間の航海を体験する他、卒業研究データ取得や航海士の資格取得の為に利用されています。航海士を目指す学生は実習を通じてリーダーシップをとれる積極性や判断力・臨機応変の行動力を鍛え、研究者を目指す学生は多様な観測機器を使用して各種水産資源の減少等環境の変化に関する調査研究を行っています。皆さんも、まだまだ多い海洋の謎を解き明かす研究航海に参加してみませんか？

竣工	平成30年3月
航行区域	遠洋区域国際航海
建造造船所	三井造船株式会社 玉野事務所
全長	68.93 m
垂線間長	56.00 m
幅	12.3 m
深さ	7.1 m
吃水	4.5 m
総トン数	1,131 トン
航海速力	13.5 ノット
航続距離	7,000 海里
総定員	70 名
乗組員	25 名
学生・教員	45 名

KAKUYO MARU

附属練習船 鶴洋丸



平成16年度に竣工した2代目鶴洋丸は総アルミ合金製で船体の軽量化を図り、高速エンジン2基を搭載した機動性の高い漁業練習船です。様々な観測機器を搭載しており、有明海や五島灘、対馬周辺などで乗船実習や海洋調査を行っています。

本学部学生は1年次の2月～3月に全員2泊3日間の乗船実習Iで乗船します。



青島 隆

船長

Takashi Aoshima

水産学部の魅力は何といっても“海”というフィールドで自ら体験しながら学べる事です。乗船実習はまさにその代表。鶴洋丸は小さな船ですが、仲間と一緒に共同生活を行いながら、水産学部生としての基礎を身につけ、また海と接することで自分自身を見つめ直す素晴らしい機会となります。風が穏やかな日もあれば、荒波にもまれることもあるでしょう。この他学部では味わえない素晴らしい体験を、みんなで一緒に分かち合いましょう。

竣工	平成16年12月
造船所	鈴木造船株式会社
船質	アルミニウム合金
全長	42.79 m
垂線間長	35.43 m
幅	7.00 m
深さ	3.19 m
吃水	2.50 m
総トン数	155 トン
主機関	1,050 KW × 2
推進器	固定5翼 × 2
発電機	250 KW × 2
最大速力	16.9 ノット
航海速力	15.0 ノット
航続距離	3,200 海里
乗組員	15 名
学生・教員	18 名

「海洋未来科学」をリードする
長崎大学の新たな学際研究拠点

海洋未来 イノベーション機構

Organization for Marine Science and Technology

海洋未来イノベーション機構は、海の新しい可能性を探る研究の拠点です。この組織は、水産学部の実験所を兼ねており、海洋生物の養殖、海の環境と生物の行動生態、藻場に関する研究などを行っています。また、海にはエネルギーを生む大きな力があることから、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減し、低炭素化社会を作るためのクリーンエネルギー開発研究にも取り組んでいます。本機構は、海洋生物と環境の保全・海洋再生可能エネルギーの研究を同時に行うことのできる日本でただ一つの研究組織です。

私たちの研究をもう少し詳しくお話ししましょう。長崎は生物多様性が高く豊かな海「東シナ海」に面していることから、この海を研究の場として海洋生物が暮らす環境を守るとともに、IoTやAIなど最新の技術を用いて養殖を行うための研究をしています。この取り組みは、10年間の研究プロジェクト「ながさきBLUEエコノミー」海の食料生産を持続させる養殖産業化共創拠点として国に認定されています。これに加えて、海上に風車を立てて行う洋上風力発電と海中にプロペラを持つ機械を投入して行う潮流発電の研究を、発電技術の開発だけではなく、開発に伴う海の生物への影響も含めて行っています。

私たちは、未来の水産と海洋産業を生み出すため、若者のアイデアと力を必要としています。

海洋エネルギー 開発研究部門

エネルギー科学分野
構造物工学分野

海洋エネルギー 利用研究部門

メカトロニクス分野
海洋水産応用科学分野

環東シナ海 環境資源研究センター

環境保全科学分野
生物資源生産科学分野

次世代を担う水産海洋研究者・
技術者を育てる教育。
2015年に文部科学省より
「教育関係共同利用拠点」に認定。

Webサイト



Institute for East China Sea Research

環東シナ海環境資源研究センター

本センターは長崎大学海洋未来イノベーション機構に所属する臨海実験施設です。現在7名の専任教員が、センターに常駐する4年生、博士前期課程、博士後期課程の大学院生らとともに、東シナ海や有明海、大村湾などを対象海域とした水産・海洋の研究を行っています。本センターが位置する長崎新漁港国際海洋総合研究ゾーンには、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所と長崎県総合水産試験場が本センターを挟む形で設置されており、これらの三機関は緊密に連携して共同研究を行っています。また、本センターは海洋生物の飼育実験が可能な研究施設であり、生きた生物材料を使った実験実習を通して学生教育に貢献しています。



水槽施設を使った海藻実験の一幕

Webサイト



海を科学して、未来をひらく

センター長 長阪 玲子

Reiko Nagasaka



東シナ海は、多くの国と地域が利用する国際的な海であり、豊かな生き物を育んでいるだけではなく、日本の食や産業、文化を支える大切な場です。しかし今、温暖化や海洋ゴミ、酸性化など、さまざまな環境問題が同時に進んでいます。環東シナ海環境資源研究センターは、この海で起きている環境変動や生態系の仕組み、生殖をはじめとした生理学的なアプローチから「海」と「生き物」を科学的に明らかにし、持続可能な社会づくりに貢献する研究を進めています。

例えば、皆さんは魚がいつ、どこで卵を産んでいるのか、また回遊魚は一体どのあたりを回遊しているのかなど想像がつかますか？ 私たちはそんな海と生き物の謎を解明する研究に取り組んでいます。海藻が炭素を吸収するブルーカーボンの研究や、洋上風力と海の環境・漁業の共存を探る取り組みも進めています。また、安定した食料生産を支える技術として期待されている魚類の完全養殖の研究や、味はもちろん、私たちの健康に寄与する、すなわち体にも美味しい魚を作れるかという研究も行っています。

「海が好き」「生き物に興味がある」「環境問題を学んでみたい」「美味しい魚が食べたい」そんな気持ちがあれば、それはすでに水産研究の入り口に立っているということです。あなたの興味や好奇心が海とともに生きる未来をつくる力になります。私たちと一緒に海を科学してあなた自身の手で未来を切りひらいていきましょう。

水産海洋実践教育ネットワーク





教員免許

在学中に所定の科目の単位を修得すると、**高等学校教諭一種免許状(水産・理科)**が取得できます。修了生は全国各地の水産高校や普通高校で教員として活躍しています。



沖縄水産高校 海洋生物系列での教育実習の様子

食品衛生管理者・食品衛生監視員

厚生労働省が指定する科目の単位を修得し、卒業後に食品関係の職場に就職して申請すると、**食品衛生管理者**の資格が無試験で取得できます。また、**食品衛生監視員**採用試験の受験資格も得られます。



食の6次産業化プロデューサー

1年次の概論科目の一部として実施される『水産業の6次産業化プロデューサー育成プログラム』を受講して合格し、修了証を得て申請すると、食分野で新たなビジネスの仕組みを作り地域を活性化できる人材の育成を目的とした国家戦略プロフェッショナル検定『**食の6次産業化プロデューサー**』の**レベル1資格**を取得することができます。

育成しようとする技術者像 長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、幅広い教養や倫理観を備え、食糧、環境、資源等に関する知識と技術を有し、地域や海外を含めた社会の調和的発展に貢献する能力と資質を備えた技術者。

海技士免許

海技士とは、大型船の航海士や船長になれる資格です。所定の科目の単位を修得し、卒業後に海洋科学専攻科(東京海洋大学)へ進学して1年間の課程を修了すると、国家資格の**3級海技士(航海)**の筆記試験が免除されます。



技術士補

本学部のカリキュラムは日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けており、国際的に通用する技術者を養成する教育プログラムとして認められています。本学部の卒業生(=プログラム修了生)は、国家資格「技術士」の第一次試験が免除されま**す(技術士補)**。「技術士補」として会社等で実務経験を積み、第二次試験に合格すると「技術士」となることができます。



進学

多くの卒業生が、より高度で幅広い専門知識や技術を身につけるために大学院に進学しています。修了後は様々な分野の研究機関・企業の研究職や技術職に就いて活躍しています。

大学院 総合生産科学研究科

水産学部と環境科学部、工学部、情報データ科学部が融合する4つのコースから構成され、分野横断的なカリキュラムを実現しています。

前期(修士)課程 (2年間)

後期(博士)課程 (3年間)

海洋科学専攻科

海技士免許取得を目指すために東京海洋大学海洋科学専攻科に進学し、船舶や航海の運用に関する知識や航海技術を身につけます(1年間)。



詳しくは
ウェブページを
御覧ください

就職

就職先の業種は、国家および地方公務員、水産会社を含む食品・化学・薬品などの製造業あるいは商社・流通業、そして環境アセスメントなど多種多様な分野にわたっています。各業界における卒業生・修了生の評価は極めて高く、先輩諸氏が活躍する企業からは継続的な求人があります。

主な就職先

- **公務員** 農林水産省 国土交通省 厚生労働省 水産庁 長崎県 福岡県 佐賀県 宮崎県 鹿児島県 広島県 岡山県 島根県 兵庫県 大阪府 京都府 神奈川県 千葉県 福島県 長崎市 佐世保市 福岡市 佐賀市 那覇市 ほか
- **大学教員** 長崎大学 東京海洋大学 東京大学 水産大学校 兵庫県立大学 福山大学 人間環境大学 高知大学 ほか
- **高校教員** 公立・私立高等学校(理科・水産)
- **食品及び水産系商社・流通関連** マルハニチロ ニッスイ 極洋 東洋冷蔵 キューピー カゴメ オタフクソース 伊藤ハム 日本ハム 丸大食品 マリンフーズ 山崎製パン フジパン 江崎グリコ 東洋水産 日本食研 久原本家 大都魚類 うおいち 大水 長崎魚市 ほか
- **漁業・養殖関連** 大洋エーアンドエフやマルハニチロAQUA等のマルハニチログループ 金子産業等のニッスイグループ TASAKI ほか
- **飼料及び漁具関連** 東海澱粉 中部飼料 第一製網 日東製網 ほか
- **化学・薬品関連** 三栄源エフ・エフ・アイ 塩野義製薬 大鵬薬品工業 富田薬品 大塚製薬 JT 久光製薬 ニプロ 東和薬品 ほか
- **船舶・運輸関連** 日本郵船 川崎汽船 商船三井フェリー 九州商船 新日本海フェリー 長崎船舶装備 ほか
- **環境アセス・調査研究関連** いであ OCC 海洋土木 國富 東京久栄 パスコ ほか
- **水族館** 海の中道海洋生態科学館(マリンワールド海の中道) マリーナパレス(大分マリーナパレス水族館うみたまご) 沖縄美ら島財団(沖縄美ら海水族館) 九十九島パールシーリゾート(九十九島水族館海きらら) 鳥羽水族館 長崎ローブウェイ・水族館(長崎ペンギン水族館) グランビスタホテル&リゾート(鴨川シーワールド) ほか
- **団体・組合・協会等** JF全漁連 日本遠洋旋網漁業協同組合 JF共水連 JF長崎漁連 JF北海道ぎょれん 日本漁船保険組合 日本食品分析センター 日本食品検査 ほか

入試案内

長崎大学水産学部では、海や海の生物、さらには資源の有効利用や生態系の保全・管理に強い関心を持ち、かつやる気のある学生を求めています。そのため、以下のような複数の入学試験を実施する予定です。入試の概要については、6月発表の「長崎大学入学者選抜要項(大綱)」でご確認ください。大綱は「長崎大学 受験生の入試情報サイト」からもダウンロードが可能です。

長大 入試

検索

詳しくはこちらから

総合型選抜I

実業系高校生を対象とした入試です。自己推薦書、諸活動の記録及び調査書(出願期間:令和8年9月)による第一次選考と、課題論文、小テスト(論理的思考能力及び英語に関する基礎学力)及び面接による第二次選考(令和8年10月上旬)に基づき選抜を行う制度です。高等学校長による推薦は必要ありません。

帰国生徒選抜 令和8年10月上旬

学校推薦型選抜II 令和8年11月中旬

面接と大学入学共通テストによって選抜を行う制度です。出願するためには高等学校長による推薦が必要です。

外国人留学生選抜 令和9年1月下旬

※総合型選抜I、学校推薦型選抜II、帰国生徒選抜、外国人留学生選抜の出願要件には細かな規定があります。詳細については、長崎大学入学者選抜要項(大綱)をご覧ください。

一般選抜

大学入学共通テスト、学力検査、面接及び調査書によって選抜を行う制度です。

前期日程 令和9年2月下旬

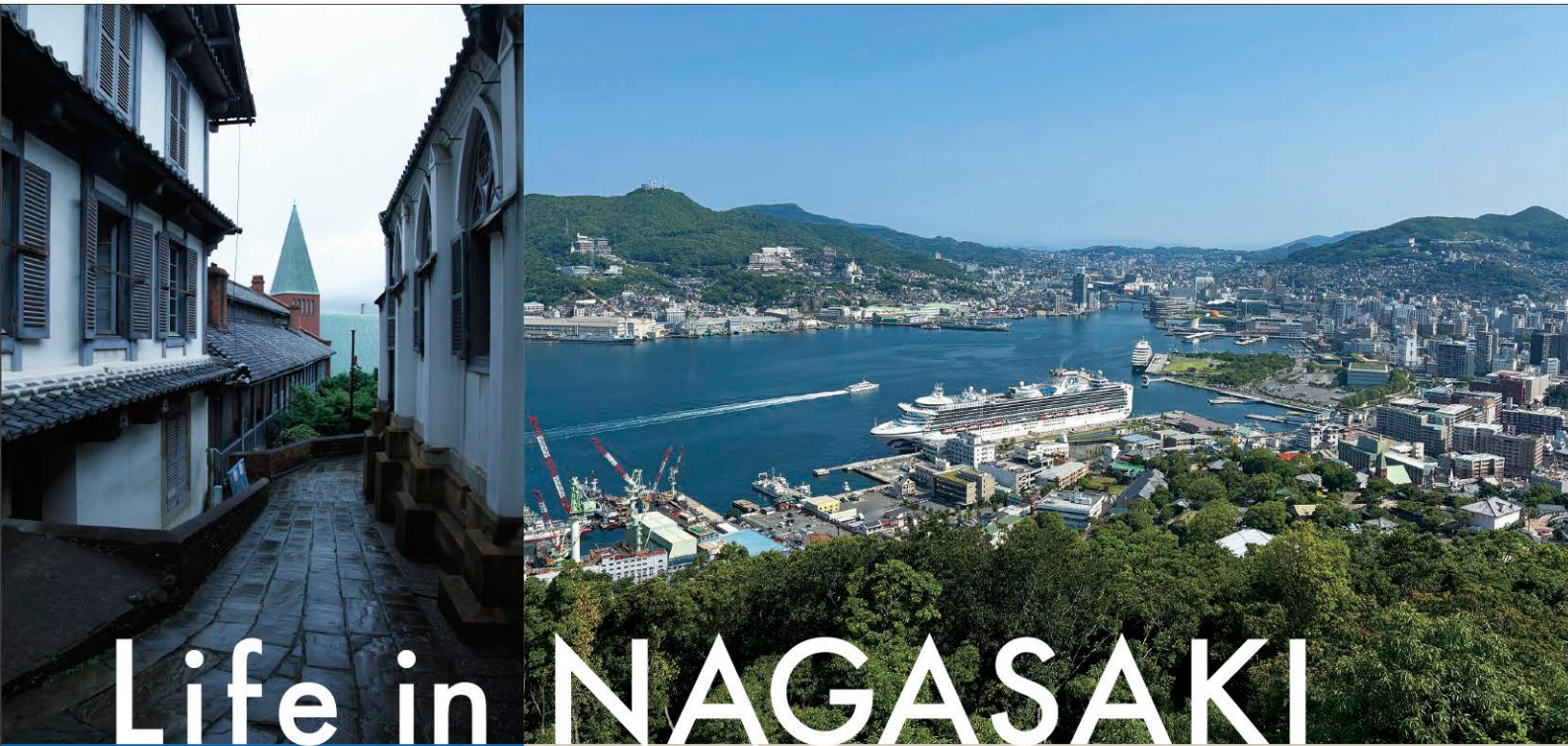
大学入学共通テスト、学力検査(理科と数学)、ペーパーインタビュー及び調査書の総得点で合否判定されます。

後期日程 令和9年3月中旬

大学入学共通テスト、面接及び調査書が課せられます。

インターネット出願について

長崎大学は、学部に関する全ての入試において、インターネットを利用した出願方法を導入しています。これに伴い、学生募集要項は冊子体での配布を廃止しています。学生募集要項は「長崎大学 受験生の入試情報サイト」から電子ファイル(PDF形式)をダウンロードして入手または参照してください。



長崎大学マップ

山・海・市街地が一体となったコンパクトな町で学ぶ

長崎は日本でもっとも歴史のある港町の一つで、その起源は外国との貿易が始まった16世紀にまでさかのぼります。鎖国下においても唯一海外との交易の窓口であったことから、経済や文化、学術の交流拠点として日本の近代化に大きな役割を果たしました。古くから西洋や中国などの影響を受けたため、独特な文化や雰囲気があります。長崎大学水産学部は、観光名所が多く生活するのにも便利な長崎市内(文教キャンパス)に位置しており、また、比較的小さな町であるため海や山、川など豊かな自然と美しい景観を身近に感じることができます。

